

令和6年3月6日発行
京都府丹後保健所 保健課
(丹後地域包括ケア推進課)

1 丹後地域オレンジロードつなげ隊圏域連絡会（第2回）における質疑応答について

去る1月26日(金)に、今回は管内認知症カフェ連絡会とキャラバン・メイト連絡協議会と合同で研修会を開催し、前32号でも紹介しましたが、終了後アンケートに参加者から寄せられた質問に対して、講師の方々にお答えいただいたことを掲載します。

「認知症当事者及び家族による講演」

★カフェなどへは一人で行くのですか？交通手段は？

♡奥様が「主人と接する中でなにか違和感があった」と話されていましたが、具体的に何が気になられたのか？

☆受診する一番のきっかけになった言動がありますか？

◆あっち側とこっち側だと感じた場面を聞いてみたい。

●ご本人に、診断前に感じた違和感や不安について、教えて欲しいです。

◎仕事をされていた時の職場の理解、退職までサポートはどうでしたか？

♡夫の仕事内容が変わり、普通の会話に違和感を感じた。

☆気のせいではなく、病気から来ている変化であるなら、今診てもらわないといけないという不安から受診を勧めた。

◎これまでの業務が難しくなった時、本人と面談の上、業務内容の変更などご配慮いただきました。経済面でも会社の制度を使う際、丁寧な案内や相談にも乗ってもらえました。

◆自分が会社で関わっていた人達と今テニス等で関わっている人とは違う。人によって症状も違い、支援する側、される側ではないと自分が認知症になって気づいた。

★参加するプログラムによって自分だけの時と夫婦で参加する時があります。送迎は妻が車でしてくれます。

●異動後の上司と合わず、自分のペースが狂い、残業も増え、物覚えの不安から、気力がなくなり、仕事に行きづらくなった。



当事者の妻



当事者

「認知症サポーター養成講座における標準教材の改訂に係る説明会」

★オレンジリングがなくなって寂しいという声は届いていませんか？

●京都府北部での「認知症の人と家族の会」の活動や組織状況を教えてください。

◆サポーター養成講座で用いるパワーポイントを小中学校、一般別に事務局の方で作成、ダウンロード出来るようにしていたらありがたい。

★オレンジリングがなくて「さびしい、欲しい」の声はよく聞きます。令和3年度以降、有料となっています。

●京都府北部の会員は少ないですが、認知症の人や家族が集まるつどいの必要性はあり、関係機関と一緒に開催したいですね。

◆特定非営利活動法人 地域共生政策自治体連携機構が、認知症サポーター養成講座事務局です。市町事務局から連絡されてはどうでしょう。



鎌田氏
(認知症の人と家族の会 代表理事)

※講師の皆様、改めてお忙しい中、ご講演及び質疑応答のご対応に感謝いたします。